



たくましい村松っ子

令和8年7月3日 第7号
文責：校長 日高 文博

7月生活目標：健康・安全に気をつけて生活しよう

「命の尊さ」と「心のあり方」を見つめる一週間に

6月21日（日）から、本校では「心を見つめる教育週間」を実施しました。「命の尊さについて考える」をねらいとしたこの一週間、子どもたちは様々な学習を通して、命の大切さについて深く考えを深めることができました。

初日の全校朝会では、私から子どもたちに向けて、演出家の宮本亜門さんの「いじめている君へ」というメッセージを紹介し、次のような話を伝えました。保護者の皆様にも、ぜひご家庭でお子様と共有していただければ幸いです。

【校長講話より】

校長先生は、村松小学校のみなさんが大好きです。「良いこと」を進んでできる人や自分が悪いなと思ったら素直に謝れる人がたくさんいるからです。だからこそ、みなさんには、いじめる人にも、いじめられる人にもなってほしくないのです。

もし、「あのときの行動は、いじめだったかもしれない」と気づいた人がいたら、気づいた今この瞬間から、これからの行動を変えていきましょう。

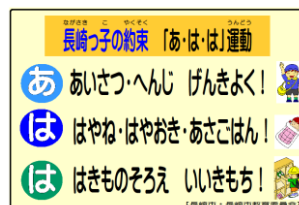
これから、みんなで守ってほしい「4つの約束」があります。

- ① 相手を傷つけないか、一瞬立ち止まって考えること
- ② 嫌なときは一人で抱えず、大人に「助けて」と言うこと
(先生たちは絶対に守ります)
- ③ いじめを見たり聞いたりしたら、すぐに大人の人に教えること
- ④ 注意されたら、言い訳をせずに「ごめんなさい」と謝ること

みんなで少しずつ意識を変えて、誰もが安心して過ごせる、温かい村松小学校を作っていきますか。「村松小で過ごせて本当によかった」と、みんなが笑顔で言える学校を、先生たちと一緒に作っていきましょう。

自分も友達も大切にできる村松小学校の437名であってほしいと願っています。

6月27日（土）までの4日間で延べ約500名の保護者の皆様や地域の皆様に来校いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの様子や環境等でお気付き等があればお知らせいただけるとありがたいです。なお、昨年度に引き続き実施しました「引き渡し訓練」につきましても、ご協力ありがとうございました。



永井徳三郎先生をお招きして「家族証言講話」を開催

6月26日（金）、3～6年生を対象に「家族証言講話」を行いました。講師には、長崎の平和のシンボルであり長崎市名誉市民でもある永井隆博士のお孫さん、永井徳三郎先生をお迎えしました。

■ 受け継がれる命と平和の尊さ

永井先生からは、祖父・隆博士や、10歳で被爆された父・誠一（まこと）さんから受け継いだ原爆の悲惨さ、そして命の尊さについてお話いただきました。お話の最後には、隆博士が残された言葉「如己愛人」（己の如く人を愛せよ）が紹介され、「そもそも『平和』とは何でしょう？」という問いかけが子どもたちに投げかけられました。



■ 私たちにできる「小さな平和」から

永井先生は、私たちができる身近な平和の第一歩として、「心やさしく、命を大切に、支え合い、助け合う気持ち」が何より大切であると教えてくださいました。

「平和のバトン」を長崎の地に暮らす私たちがしっかりと引き継ぎ、次の世代へと確実に手渡していくこと——。その責任の重さを、教職員一同、あらためて深く受け止める貴重な機会となりました。

※画像は個人が特定されないように処理しています。